

茨城県央地域
定住自立圏形成協定締結式



東海村と水戸市が、医療・福祉・教育等、連携して取り組む内容を台意

「茨城県央地域定住自立圏の形成に関する協定」を締結しました！

県央地域の9市町村(東海村、水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町)は、7月5日、水戸市を中心市とする「茨城県央地域定住自立圏の形成に関する協定」を締結しました。

●今回、東海村と水戸市の間で締結した協定では…

連携して取り組む内容として、医療分野では初期救急医療の充実や、医師・看護師等の確保の推進、福祉分野では成年後見支援事業の実施に取り組みほか、広域観光の推進、公共施設の相互利用等を掲げています(下表参照)。

●今後は…

10月末をめどに「茨城県央地域定住自立圏共生ビジョン」を策定し、協定に基づき連携して取り組む具体的な事業内容を定めることとなります。

【問い合わせ】

企画経営課
企画政策担当(☎282局
1711)内
線1336)

▼写真左から
高橋靖水戸市長
山田村長



【東海村と水戸市が締結した協定の取り組み内容】

医療	初期救急医療の充実	圏域内の初期救急医療の充実を図るため、診療所等に関する情報の共有や、適正受診の啓発についてのガイドブックの作成等、各種事業に取り組む。
	医師・看護師等の確保に向けた取り組みの推進	圏域内の安定的な医療提供体制を維持するため、医師の雇用支援や看護師の再就職支援等、各種事業に取り組む。
福祉	県央地域成年後見支援事業の実施	圏域内の認知症高齢者や障がい者等の権利を擁護するため、県央地域成年後見支援事業に取り組み、成年後見制度の効果的・効率的な運用を図る。
産業振興	「いばらき県央地域観光協議会」を通じた広域観光の推進	圏域の広域観光を推進するため、回遊性を高めるイベントの開催や各自自治体の観光物産PRなどの各種事業を実施する。
環境	低炭素社会の実現を目指した取り組みの推進	圏域内における低炭素社会の実現を目指すため、節電をはじめとした温室効果ガス削減につながる取り組みを推進する。
教育	体育施設や図書館など公共施設の広域利用の推進	圏域内における体育施設や図書館など公共施設の広域利用を推進するため、利用促進に向けた効果的なPRや、利便性の向上を図る事業に取り組む。
地域公共交通	圏域全体における公共交通の課題等の調査・研究、取り組みの推進	圏域住民の日常生活や経済活動に必要な移動手段を確保するため、圏域の公共交通の課題解決策について、調査・研究を行うとともに、公共交通の維持・確保・利用促進に係る取り組みを推進する。
人材育成	職員の能力向上に向けた研修会の合同開催・相互参加	圏域内の自治体職員の能力向上を図るため、研修会を合同で開催するとともに、各自自治体が開催する研修会への相互参加を推進する。